

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：池間島

協定対象漁業集落名：池間漁業集落

協定参加世帯数：32 世帯（33 人）

（うち漁業世帯数：32 世帯（33 人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣り漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、佐良浜集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

種苗放流で 2,000 匹のハマフエフキ（タマン）の放流を実施し、水産資源の維持・回復を図ることとした。また、漁業被害をもたらしているためサメ駆除を実施し、漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。また、パヤオ作成・設置を実施し、カツオ一本釣り漁業等の操業安定化を図ることとした。



種苗放流 ハマフエフキ放流



種苗放流 ハマフエフキ放流

(別紙2)



パヤオ設置 設置の様子



パヤオ設置 設置の様子

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

シャコ貝養殖の新規着業を実施し、操業日数の増加を図ることとした。今年度は、養殖用の水槽等の整備を実施した。



シャコ貝養殖 ブロック組上作業



シャコ貝養殖 貯水試験の様子

4. 取組の成果

漁場の生産力の向上に関する取組においては、ハマフエフキ（タマン）の放流により水産資源の維持・回復が見込まれ、放流漁場での漁業の継続性に繋がる。また、サメ駆除の実施により漁業被害の軽減及び安全操業の確保が見込まれ、また、今年度のパヤオの作成・設置については、前年度において浮き及びアンカー製作を行ったので、今年度はパヤオの設置を行った。パヤオを設置したことにより、今後の漁獲量の安定化が期待される。

漁業の再生に関する実践的な取組については、前年度から新規養殖業の着業の取り組みとしてシャコ貝養殖の着業に取り掛かり始め、今年度は、養殖用の水槽等の整備を実施した。今後、休漁期における収益性の確保が今後期待される。